

中津市本耶馬溪「道の駅耶馬トピア」周辺観光化の可能性と集客力アップを探る

別府溝部学園短期大学食物栄養学科

温泉・観光コース特任准教授 安達美和子、管理栄養士准教授 江島陽子、非常勤講師 堀桂子
学生 2年生草地位穂、末吉輝空、川野朱音、鳥丸史道、他1年生



目的:本耶馬溪地域に「青の洞門・羅漢寺IC」が完成し東九州自動車道へ直結することで本耶馬溪地域へのアクセスが向上され 新たな観光周遊ルートの形成は大分県全体の観光活性化が期待される。
本事業では、若い世代に本耶馬溪のことを知ってもらい、観光客の増加に繋げるため本耶馬溪支所と協働して若者を対象とする集客力のアップを目的に取組むこととした。

◆期間:2024年度(2024.4.1~2025.3.31) ※2025年度に本耶馬溪支所と事業として継続予定



「道の駅耶馬トピア」周辺の観光の魅力探し

現地調査フィールドワーク

学生×本耶馬溪支所との意見交換及び協議

特産品の「そば」を使った商品開発



そば粉を使った(仮) そばんこスパイス考案

唐揚げに使う片栗粉をそば粉に変えて試作→そばの風味がない→そば粉をスパイスに変更→スパイスの素材との比率を見つけるために何度も試作→完成

そばの実を使った(仮)本耶馬溪もち(だんご)考案

そば粉を使っただんごの試作→時間の経過とともに固くなる→改善→配分の変更 豆腐の追加→味と外見に不満→そばの風味がない→そばの実を使って 味噌だれトッピング→完成



スパイス



試食のだんご

イベント「地域の宝さがし教室」実施

実施日:2024年 10月14日・15日

場 所:1日目本耶馬溪やかた田舎の学校(旧屋形小学校)30名参加
2日目中津市立本耶馬溪中学校 62名参加

地域の方々と環境教育とアウトドア体験

若者の目線での観光資源の磨き上げと情報発信による次世代へつなげる取組みを実施



2日目

- ・そば粉を使った商品の試食
- ・大学生と中学3年生の発表
- ・地域の方々との「地域課題に向けて私ができること、したいこと」をテーマに意見交換・交流会

情報発信の方法 インスタグラム活動

若い世代の情報集めのツールとしてSNSは多く使われるため、インスタグラムの活動を実施

アンケート調査と分析

継続的な投稿による情報発信が必要

質問	回答					n=46
	ドライブ	観光	休憩	その他		
今日、こちらに来たのはどんな目的ですか。	16	16	6	12		50
どちらでこの施設があることを知りましたか。	6	4	10	22		42
主な交通手段を教えてください。	35	0	5	6		46
耶馬トピアでの滞在時間を教えてください。	23	21	2	2		48

観光の拠点となる道の駅耶馬トピア 魅力のキーワード「川と緑のコントラスト」

大きな公園、自然を感じられる「耶馬トピアパーク」のイメージを持ち、パンフレット作成中



周辺の観光スポット (パレンパレンの森・青の洞門)

展望

「視点(特徴・課題)」「場所(地域)」「方法(実施と分析)」を組み合わせた課題解決の可能性を重要視しながら地域の実態を知るためのフィールドワークを実施したことで様々な成果があったと考える。この取組みが一過性のものではなく、産官学の連携によって更に具体化できると考える。